

施策名 歩くまちの歩行空間の形成と自転車利用の促進

1342 所管局: 建設局 共管局: なし

概要

高齢者や車椅子利用者をはじめとして、誰もが安全で快適に利用できる歩行空間を整備する。
また、自転車利用環境を整備し、自転車の利用を促進する。

総合評価

C (D)

客観指標評価は、主指標の自転車等駐車場の設置箇所数と収容台数が昨年度に比べて改善したため、やや良い状況にあるが、市民の生活実感についてはやや悪い状況にある。
この施策の目的から、客観指標の改善と市民の生活実感の向上は同等に重要であると考えられ、両評価を総合的に勘案して施策の目的はそこそこ達成されていると評価する。

○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価 b (d)

指標名	前回事	最新値	目標値	達成度	評価
自転車道・自転車歩行者道の整備延長(m)	522.8	530.1			c (e)
歩道の整備延長(m)	1407	870	4225	20.6%	e (e)
電柱をなくし管路を道路に埋設した延長(km)	0.66	2.87	4.74	60.5%	c (e)
道路のバリアフリー化計画の実施済地区数	4	6	2	100.0%	a (a)
都市型レンタサイクルの設置台数(台)	558	579			c (d)
自転車等駐車場の収容台数(台)	39614	40361	40214	100.4%	a (b)
自転車等駐車場の設置箇所数(箇所)	72	77	73	105.5%	a (b)

○この施策に関する市民生活実感評価

歩道の電柱や段差がなくなるなど快適になった。



答a: そう思う	22	4.1%	(4.9%)
答b: どちらかというと思う	67	12.4%	(14.1%)
答c: どちらとも言えない	132	24.4%	(21.6%)
答d: どちらかというと思う	165	30.4%	(26.7%)
答e: そう思わない	156	28.8%	(32.7%)
有効回答数	542		
市民生活実感評価			d (d)

※ ()は昨年の評価結果及び数値を表しています。

<参考>この施策実現のための主な事業

事業名

御池地下街・地下駐車場建設事業等
放置自転車等対策
放置自転車対策(緊急雇用)
自転車等放置防止条例関連
道路附属物自転車等駐車場
京都市自転車等駐車場条例に基づく自転車等駐車場
石田駅自転車等駐車場整備
地下鉄西大路駅自転車等駐車場整備